



北上川流域ものづくりネットワーク

令和6年10月～12月 活動状況報告（一部敬称略）

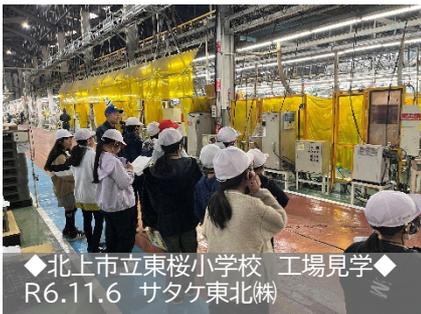
Ⅰ 小中学生対象事業

【工場見学、出前授業の支援】

小中学生を対象とした工場見学は、第3四半期には延べ19校で実施し、約1,000名の児童・生徒が参加しました。昨年同期（18校、約820名）と比べ、参加校及び参加人数がともに増加しており、より多くの児童・生徒にもものづくりや地元企業にふれ、理解を深める機会として支援を実施しました。なお、12月以降は、お問い合わせがあり次第、支援を実施してまいります。

また、出前授業は3校で実施し、約220名の生徒が参加しました。両磐インダストリアルプラザ様と連携して開催した一関市立桜町中学校1学年での出前授業では、キャリア教育に関する講話の他、御協力いただいた各ものづくり企業の講師による「ものづくり体験」を実施し、ものづくりや工業の楽しさを体験するとともに職業観や生き方について考える機会となりました。将来、高校進学を控える生徒の皆様にとって、普段経験することが出来ない貴重な機会となり、実施した学校の先生からも好評いただきました。

御協力いただきました企業の皆様には、お忙しい中での御対応に感謝いたします。引き続き御協力の程よろしくお願いいたします。



◆北上市立東桜小学校 工場見学◆
R6.11.6 サタケ東北(株)



◆一関市立桜町中学校 出前授業◆
R6.10.7 SWS 東日本(株)



◆北上市立南中学校 出前授業◆
R6.11.19 (株)東北イノアック

【小中学生等ものづくり理解促進行事開催支援補助】

小中学生等ものづくり理解促進事業開催費補助事業では、第3四半期に5件の補助事業が開催されました。このうち、北上工業クラブ様が主催で10月25日～27日に開催された「きたかみ・かねがさきテクノメッセ2024」での「ものづくり体験教室」では、ウッドツリーや組子コースター、木製の小物バスケット等の製作体験を行い、26日、27日の2日間で約230名の児童・生徒が参加しました。

また、千厩高校では、近隣の中学校4校にて「出前授業」を開催し、195名の生徒が参加しました。工業高校についての紹介の他、課題研究やインターンシップの紹介、電気、電子回路の実演及び体験等を行い、参加した生徒は、ものづくりや工業高校への興味・関心を深める機会となりました。

今後の活動の更なる広がり期待しています。



◆ものづくり体験教室◆
R6.10.5 県立産業技術短期大学校



◆第39回江刺産業まつり◆
R6.10.19～20 奥州商工会議所



◆きたかみ・かねがさきテクノメッセ◆
R6.10.26～27 北上工業クラブ

II 高校生等対象事業

【工場見学、出前授業等支援】

工場見学は、11月28日に盛岡工業高校工業化学科2年生15人がキオクシア岩手㈱様を見学しました。参加した生徒が同校を卒業した先輩社員2名からお話を伺うことができ、今後の進路活動に活かすことができる有意義な機会となりました。

出前授業は、今期は3回開催しました。このうち、大船渡東高校では機械電気科49人を対象に地域産業講座を開催し、吉田テクノワークス㈱ 代表取締役 吉田重雄 様から講話をいただきました。また、黒沢尻工業高校では、2年生139人を対象に2回目の地域産業講座を開催し、6社の経営者、社員の方に講話をいただき、生徒の皆さんが地域で働くことを考える機会となりました。御協力いただきました企業の皆様にはお忙しい中での御対応に感謝いたします。



◆盛岡工業高校工場見学◆
R6.11.28 キオクシア岩手㈱



◆大船渡東高校「地域産業講座」◆
R6.10.9 吉田テクノワークス㈱



◆黒沢尻工業高校「地域産業講座」◆
R6.10.16 日立 Astemo ハイキャスト㈱

【地域企業展示会見学支援(バス代支援)】

10月25日～27日の3日間、北上市総合体育館にて「きたかみ・かねがさきテクノメッセ2024」が開催され、工業高校に対し、本イベントを見学する際のバス代を支援いたしました。県事業でのバス代支援と合わせて10校870名の来場に繋がりました。ものづくりの楽しさを体感する貴重な機会となりました。

次回以降、更なる高校生の来場に期待しています。



◆きたかみ・かねがさきテクノメッセ◆
R6.10.25～27 主催:北上工業クラブ

III 指導者対象事業

今期は、3回の教員関連団体の事業開催支援を行いました。

11月5日に開催された県高等学校長協会就職対策委員会の見学会では、工業系に限らず普通高校などの学校長17名が参加し、㈱ツガワ様及び和同産業㈱様の工場を見学しました。

講演会は2回開催しており、11月26日に開催された、中堅教諭等資質向上研修(中部教育事務所主催)では、㈱サトウ精機 代表取締役社長 佐藤 智栄 様から「この郷土に根付く人材について」と題して御講演いただきました。「人を育てる」という企業と学校との共通点がありますので、学校での児童生徒の教育活動の参考となりました。また、本講演が地域企業への理解の一助となりました。

12月13日に開催された工業部会創立70周年記念講演会及び工業教育研究協議会研究発表会(県高等学校教育研究会工業部会主催)では、和同産業㈱ 代表取締役社長 三國 卓郎 様から学校教育に期待することなどについて講話いただくとともに、ロボット草刈機KRONOSの実機を使った説明もいただきました。今後の工業教育について考える貴重な機会となりました。



◆講演会◆
和同産業㈱ 代表取締役社長 三國様

IV 会員企業対象事業

【ものづくりいわて塾】

6月に開講した「ものづくりいわて塾（第28期）」は、第3四半期に3回開催し、全てのカリキュラムが修了しました。10月は内海講師による「量産モノづくりの世界：QMS（QCM）」「QC 7つの道具」「伝える力」をテーマとした講義を行い、モノづくりを取り巻く世界的な環境の変化、品質管理や企業のあるべき姿など基本的な考え方について学習しました。内海講師が撮影した生産現場の貴重な動画を見ながら、モノづくりとそれを改善する視点について、考える良い機会となりました。11月は㈱デジアイズ様に御協力いただき、工場見学の他、社内で行っている改善活動について紹介いただきました。最終回となった12月には、各塾生から普段の業務で忙しい中、当塾で学んだことや気づいたことを基に改善活動に取り組んだ成果を発表いただきました。内海講師からは、「各塾生が当塾で学んだことを活かし、自分で考えて生産性向上につなげた。当塾での経験を今後の業務にも活かしてほしい」と講評いただきました。

当塾を修了した塾生の方々にお祝い申し上げるとともに、内海講師及び企業見学会に御協力いただきました企業の皆様に心よりに感謝申し上げます。



【生産性向上のためのからくり改善勉強会】

9月から開催している「生産性向上のためのからくり改善勉強会」の第2回を10月8日に開催しました。トヨタ自動車東日本㈱岩手工場様にて、同社のからくり改善活動の社内展開から実際に生産現場で活用している「からくり」など先進的な活動を見学した後、北上地区合同庁舎にてグループワークを行い、見学の振り返りや自社課題の解決に向けた他社との意見交換を行いました。第3回は、11月25日に開催し、和同産業㈱様に御協力いただき、同社の現場で使用しているからくりを紹介いただいたほか、同社におけるからくりに関する課題を共有いただき、それについて講師から助言等がありました。その後は、花巻地区合同庁舎に移動し、他社と課題を共有し意見交換を行うグループワークを実施しました。

第2回、第3回ともに他社の見学や、意見交換を行うことで、自社課題解決に向けた視野を広げられたことと思います。御協力いただいた企業の皆さまに感謝申し上げます。引き続き本勉強会への御理解と御協力をお願いいたします。

※「からくり改善」は、社団法人日本プラントメンテナンス協会の登録商標です。



V 新規入会情報

12月末現在の本年度入会状況について、以下のとおりお知らせします。

入会日	会員名	区分	業務内容
R6. 6. 7	イーエヌ大塚製薬㈱	企業	医薬品の研究・開発、製造、販売
R6. 6. 7	県立宮古高等技術専門学校	学校	-
R6. 7. 17	岩手県高等学校教育研究会 工業部会	団体	-
R6. 10. 1	シミック CMO 株式会社 西根工場	企業	製剤開発、医薬品製造

北上川流域ものづくりネットワーク事務局（岩手県 県南広域振興局 経営企画部 産業振興室）

〒023-0053 岩手県奥州市水沢大手町1-2 Tel: 0197-48-2421 Fax: 0197-22-3749

HP: <https://kitakamigawa-monozukuri.net/>

FB: <https://x.com/monodukurinw>

